

「スパイス&ハーブ」グループ



製品グループ概要

創業のきっかけとなったカレー粉をはじめとして、豊富なラインアップの「SPICE&HERB」シリーズ、環境に配慮した「ORGANIC SPICE」シリーズなどの洋風スパイスや、レシピの幅が広がるシーズニングスパイス、ベビーリーフをはじめとするフレッシュハーブなど、「地の恵み スパイス&ハーブ」を活かした製品を幅広く展開しています。

【エスビー食品の強み】

- ・創業以来培ったスパイスやハーブに関する知見とノウハウ
- ・スパイスやハーブを活用した提案力
- ・トップシェアを保有する「洋風スパイス」「シーズニング」「カレー粉」



出典：※1 インテージSRI+ 洋風スパイス市場 2023年4月～2024年3月 推計販売金額シェア
 ※2 インテージSRI+ シーズニング市場(汎用・メニュー用計) 2022年4月～2024年3月 推計販売金額シェア
 ※3 インテージSRI+ カレー粉市場 2019年4月～2024年3月 推計販売金額シェア

市場概況／事業環境認識

2023年度の国内家庭用洋風スパイス市場は、163億95百万円^{※4}(前年比103.7%)となりました。コロナ禍の影響により、家庭で料理をする機会が増えたため、2020年度に市場は大きく伸長しましたが、その後の2年間は縮小しました。しかし、2023年度は、2019年度および2022年度の実績を上回り、長期的には拡大傾向にあります。

主原料であるスパイスやハーブは、産地の気象条

件や人手不足、転作などの影響を受けやすく、引き続き原料価格の変動が想定されます。

一方で、食卓でのスパイスやハーブを使ったメニューは広がっており、時短や少人数向けの調理が可能な製品の拡充により、使用機会はさらに増えると考えています。

※4 2023年4月～2024年3月 インテージSRI+ 洋風スパイス市場 推計販売金額、金額前年比

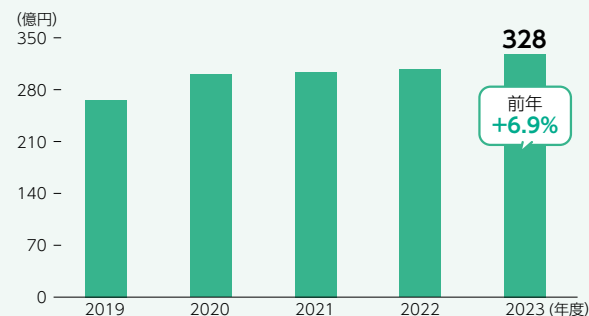
2023年度の振り返り／2024年度の方針

2023年度の国内家庭用市場において当社は、価格改定の影響のほか、使い切りスティックタイプの「カレー粉スティック」や「スティックスパイス」の提案に注力した結果、売上が伸長しました。引き続き洋風スパイスの市場定着・拡大を図るとともに、近年注目されている冷凍素材とシーズニングの関連販売を強化していくことで、当社シェアの拡大を目指します。

業務用市場においては、コロナ禍で影響を受けていた外食・宿泊施設・事業所給食業態などが徐々に回復傾向となり、コロナ禍以前の販売金額に近い状況となっています。2024年度は、加工・中食業態への販売力をさらに強化し、「セレクトスパイス」のシェア

拡大および付加価値製品であるトッピング系シーズニングの拡売に注力します。

エスビー食品 スパイス&ハーブグループ売上推移



※業務用、輸出専用品、フレッシュハーブを含む

価値創造ストーリー

中期経営計画

事業概況

ESG

データ編